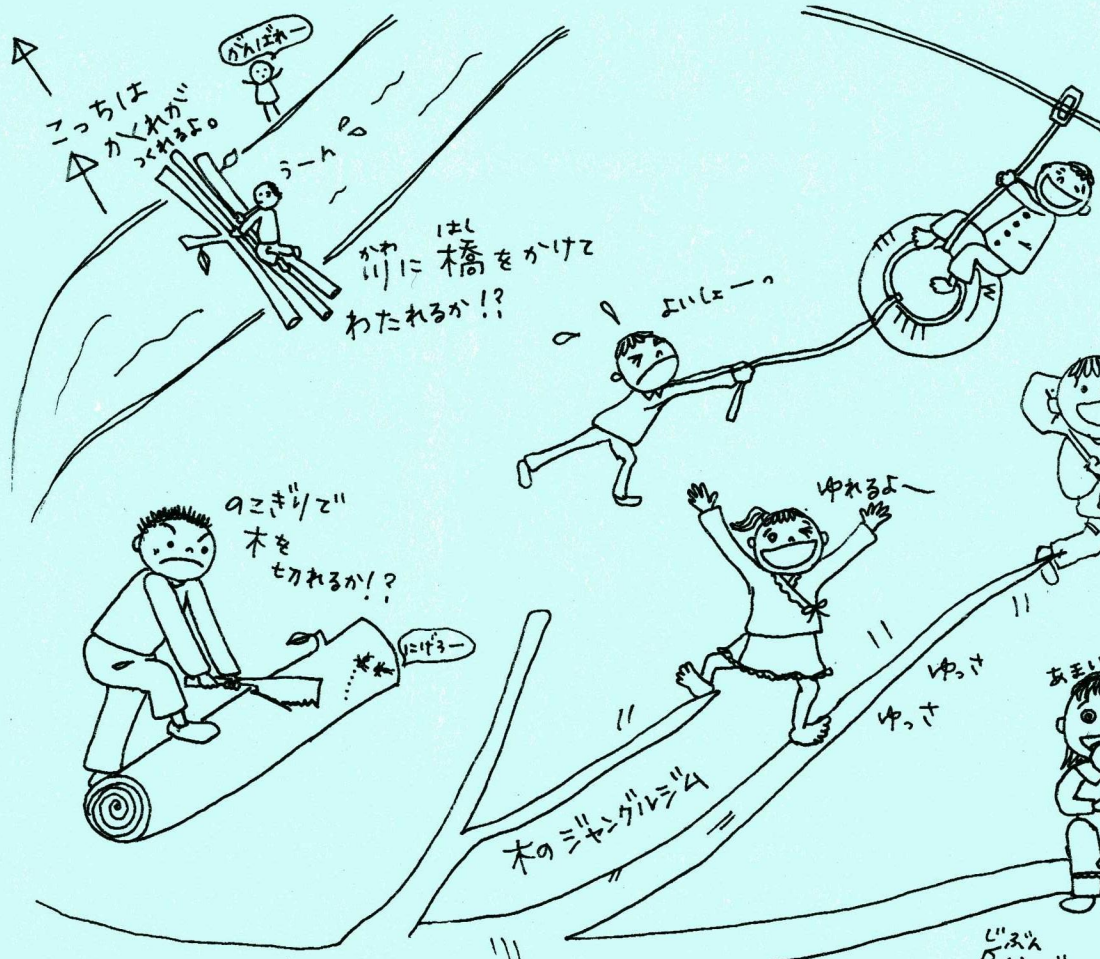


# 小学生の楽しみ時間

キミはア×を作れるか!?



# 2/25

(金)

ほうかご 放課後

5時

# なかたの森

↑ なかたの森は、なかた小学校のとなりにあるよ。

- ① ただでも自由に遊びに来れるよ!
- ② お金は、いらないよ!



保護者の皆様へ

# 小学生！放課後集まれ！！森が遊び場 ～焚き火で飴作り編～

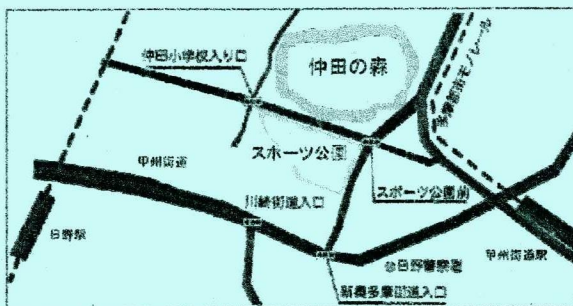
「やってみたい！」って素晴らしい。子どもの挑戦したい気持ち大切にしたいなあ～

子どものありのままを「それでいいんだよ」って受け止めていきたいです。失敗も大事ですね。

思いっきり遊ぶもよし、何もしていないのもよし。「自由だなあ」と思える気持ち何かを生み出す力になるよ！



この遊び場は、「ひのっすくすくプラン」で子どもにとって必要な居場所とは何かを考える中で生まれました。2009年6月より、毎週金曜日と毎月第2土曜日に日野市の助成を受けて開催しています。(参加費無料)  
子ども達の今をありのまま受け止め、未来を生きる子ども達を大切にする社会の実現を目指して活動しています。



自然体験広場「仲田の森」  
住所：日野市市日野本町6-1 (仲田小となり・スポーツ公園内)  
駐輪場あり(駐車場はありません)

## NPO 法人 子どもへのまなざし

URL <http://manazashi2009.sakura.ne.jp>  
Blog <http://nakadanomori.blogspot.com>

### お問い合わせ

info@manazashi2009.sakura.ne.jp  
050-3721-1973(月～木・13時～17時)

## きつと、 だいじょうぶ。

④ 西野 博之

子どものころ、土管が積み上げられた空き地に入り込んで、友だちと鬼ごっこをした思い出がある。狭い路地裏で、ロウセキで地面や塀に落書きもした。日が暮れるまで外でたっぷり遊んでいた。

でも高度経済成長期を経て、まちは大きく様変わりした。家が建ち並び、路地は車優先となった。公園にはどこも同じ金属製の遊具が設置され、ケガをした時の責任から

逃れるための「〇〇禁止」の看板が目立つようになった。今や子どもたちは社会の中で消費者と位置づけられている。電化製品が整った部屋の中へと通いやられ、一人でゲーム機に向かう日々を送っている。空き地にある廃材などを使い何かをつくって遊ぶ楽しさも、集まった仲間でルールを作り替えながら遊ぶ面白さも奪われてしまった。

大人たちが作り出したこの環境の中で、子どもたちは悲鳴をあげている。全国の小学生の不登校は17万4000人。ひきこもりの若者は約70万人といわれている。また、昨年度小中高生の起こした暴力行為は過去最多の6万件を超え、特に小中学校で著しく増加したという。ストレスをためる子どもた

ち。もっていき場のないイラダチは自分より弱い者への暴力となり、いじめを生んでいく。最近もまた群馬県桐生市で小学6年生の女の子がいじめを苦に自ら命を絶った。こんな社会の中で、もっと子どもたちが豊かに成長できる環境をつくらなくては、遊び場づくりに取り組んでいる人たちがいる。10月の末にその全国の仲間が集まって、第5回冒険遊び場づくり全国研究集会が開かれた。3年に1度の集いで、今年の開催地は神奈川県。私がその実行委員長を務めることになった。

日本各地から2日間通って延べ5000人が参加し、夜が更けるまで熱い思いを語り合った。大雨の中、神奈川県副知事や横浜市の副市長にも駆けつけていただいた。

神奈川県はホームページで冒険遊び場を紹介。横浜は「プレイパーク(冒険遊び場)事業の推進」を施策に盛り込み、増設に着手。人件費等の予算化も行っている。川崎市は常設のプレイパークをもつ「子ども夢パーク」を設置した。官民協働のもとでの遊び場づくりに、各地から熱い視線が注がれている。

子どもにとって遊ぶことは、ご飯を食べるくらい大切なこと。食事は体をづくり、遊びを通して豊かな心が育まれる。もっと自由に外遊びができる環境を増やしたいと心から願う。

(NPO法人フリースペース たまりは理事長)

次回は21日

2010年11月7日 毎日新聞より

## 冒険遊び場づくり

■主催:NPO 法人 子どもへのまなざし ■協賛:日野市一中育成会 ■後援:日野市子育て課